



プロが
厳選!

おすすめヘッドホンアンプはコレ!

ヘッドホンの高音質化の流れの中で、存在感を増しているのがヘッドホンアンプだ。プレーヤー内蔵のアンプでも、もちろん音は出るのだが、それがヘッドホンの実力を最大限に引き出しているかというところ、怪しいところ。音量が足りない、音がゆがみっぽい、あるいはもっと低音の質を上げたいなどの要望も含めて、あなたが今のヘッドホンの音に満足していないのなら、試してみる価値は十分にある。

一くくりにヘッドホンアンプといっても、その種類は多彩だ。大きくは、AC電源を使う据え置き型と、バッテリー駆動に対応したポータブル型とに分けられる。さらに、デジタル対応か否か。また、デジタル対応なら光/同軸/USBといった接続端子を備えたモデルが多い。ここでは、私がおすすめるヘッドホンアンプを紹介しよう。

キャロット・ワンのFabrizioオーディオは、かわいらしいデザインで人

キャロット・ワン Fabrizioolo

実売価格例:3万1800円



●ヘッドホン端子/ステレオミニ●サイズ/幅67mm×高さ80mm×奥行き125mm●重量/約400g●問い合わせ先/ユキム ☎03-5743-6202

ニューフォース UDH-100

実売価格例:6万9300円



●ヘッドホン端子/ステレオ標準●サイズ/幅216mm×高さ48mm×奥行き255mm●重量/1.8kg●問い合わせ先/フューレンコーディネート ☎0120-004884

フルテック ADL X1

実売価格例:3万7800円



●ヘッドホン端子/ステレオミニ●サイズ/幅68mm×高さ16.5mm×奥行き118mm●重量/147g●問い合わせ先/フルテック ☎03-5437-0281

気を集めているアナログ入力限定のプリメインアンプだが、ヘッドホンアンプとして使用する場合、純粹な真空管増幅が可能だ。そのサウンドは、まろやかにして繊細。ジャズトリオではピアノとベースが躍動し、ドラムスの切れ味も鋭い。USB入力に対応した上位モデル、ERNESTOLONEも要チェックだ。

ニューフォースのUDH-100は、据え置き型としてシンプルにクオリティを追求したモデル。入力はPCとの接続を想定したUSB端子のみ、

出力もRCAピン(アナログ)1系統だ。外観のイメージどおり、さすがらしい端正なサウンドを聴かせる。ただ、ひ弱な感じはなく、音楽の骨格をしっかりと描き出し、音量を上げてても足元がふらつかない。随所で作り手のセンスのよさを感じるモデルだ。

そして、フルテックのADL X1は、USB入力、光出力に加えて、アップル社製デバイスとのデジタル接続に対応したポータブルモデルだ。音は重量感を伴った、スケール豊かな仕上がり。特に、中低域がどっしりと落ち着いて、ジャズトリオの演奏ではバスドラとベースの躍動感が楽しい。ヘッドホンマニアの頼れる一台だ。